



KAWASHIMA
SELKON

株式会社川島織物セルコン 環境への取り組み2019

目次

川島織物セルコンの「環境」に対する取り組み	2
企業理念	3
環境方針	4
環境推進組織・目標と活動内容・マテリアルバランス	5
環境に関する規制の順守状況	6
環境負荷低減への取り組み-1 ゼロエミッションへの挑戦	7
環境負荷低減への取り組み-2 CO ₂ 排出量の削減に向けて	8
地球にやさしい技術・商品-1 資源の有効活用	9
地球にやさしい技術・商品-2 CO ₂ 排出量削減への配慮	10
地球にやさしい技術・商品-3 室内空気環境改善への取り組み	13
地球にやさしい技術・商品-4 環境にやさしい伝統的モノづくり	14
環境社会貢献活動	15

川島織物セルコンの 「環境」に対する取り組み

私たちは地球温暖化対策に向けての企業責任を果たすべく、CO₂排出量の削減を中心とした「エコ・ファーストの約束」を掲げ取り組みをスタートし、2010年5月には、環境省からエコ・ファースト企業として認証を受け、その活動を進めております。

エコ・ファーストの約束では、エネルギー使用量の削減などによりCO₂排出量の最小化を図ることや循環型社会の形成に向けた取り組みを積極的に推進し、廃棄物の最終処分量の削減を目指すこと、さらに環境配慮型商品の開発とその普及を推進することで、商品の製造工程・使用工程・廃棄のそれぞれの段階での排出CO₂の削減、廃棄物削減を目指しています。

京都議定書採択の地、京都に本社を置く当社は、環境対応を経営の重要課題のひとつとして早くから取り組んできました。1999年には市原事業所にてISO14001の認証を取得し、環境経営に注力し、従業員の環境意識を高めるとともに、環境配慮型商品及び環境配慮型技術の開発を重点的に推進してきました。

例えば、カーテンでは、1996年に業界で初めてPET再生繊維使用のカーテンを発売し、現在ではオーダーカーテン製品回収の広域認定を取得、回収した製品を100%再利用する「カーテンリサイクル

システム」を実施しています。また床材では、2003年に「廃床材リサイクル循環システム」を確立し、2008年には、業界初の画期的な「カーボン・オフセット付タイルカーペット」を発売し、お客様から大きな反響をいただきました。2012年には、ビジネス全体で環境ラベルを積極的に活用している点が評価され、「エコマークアワード2011」銀賞を受賞しました。

当社はこれからも、環境経営の考え方に立ち、環境配慮型商品及び環境配慮型技術の開発を最重要施策のひとつとして一層推進し、地球環境保全につなげていく所存です。



2019年12月
株式会社川島織物セルコン
代表取締役社長 木村 弘一

■ 会社概要

商号：株式会社川島織物セルコン
本社：京都市左京区静海市原町265
創業：1843年2月（天保14年）
会社設立：1938年5月（昭和13年）
資本金：9,381百万円
従業員数：982名（2019年3月31日現在 連結）

■ 事業概要

【呉服・美術工芸織物】
帯、緞帳（どんちょう）、祭礼幕、和装小物などの製造販売
【インテリア・室内装飾】
カーテン、カーペット、壁装、インテリア小物などの製造販売、室内装飾工事



川島織物セルコン企業理念

川島織物セルコングループは、世界のお客様に感動と満足を与える商品・サービスを提供することにより、常に新しい文化を創造、提案し、心豊かな社会の発展に貢献します。

2006年4月1日制定
2008年4月1日改訂

環境理念

川島織物セルコングループは、環境関連の法令等を順守し、環境に配慮した経営を進めることにより、地球環境の保全と調和を図り、社会の一員としての責任を果たします。

2006年4月1日制定
2008年4月1日改訂

LIXIL CORE (LIXILグループ企業理念)

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献します。

LIXIL グループ環境方針

LIXIL グループは、人びとの暮らしが地球と調和することを願い、
住まいづくりのあらゆるプロセスにおいて、
持続可能な社会に向けた主体的な取り組みを続けていきます。

■ 環境マネジメントシステムの 継続的改善

私たちは、トップマネジメントのリーダーシップのもと、環境方針・目標を事業活動に落とし込み、環境マネジメントシステムを継続的に改善し、環境パフォーマンスを向上します。

■ コンプライアンスの徹底

私たちは、事業活動を行う上で、必要な環境リスクアセスメントを徹底します。また、環境に関する法令、協定、より高いレベルの自主基準を順守し、深刻な事故や汚染を予防し、環境保護を実施します。

■ 環境に配慮した製品及び サービスの開発と普及

私たちは、製品及びサービスのライフサイクル全体での環境影響を評価し、住生活の質の改善や、水危機や気候変動をはじめとした環境課題の解決に貢献する製品及びサービスの開発と普及に取り組めます。

■ 事業のあらゆるプロセスにおける 環境負荷の低減

私たちは、あらゆる業務において環境配慮型のオペレーションを実践し、持続可能な資源の利用、エネルギーや水の効率的な利用、廃棄物や化学物質の適正な管理・削減などに取り組みます。

■ 積極的なコミュニケーションの 推進

私たちは、地域や社会の一員として、顧客、地域社会、サプライヤー、社員などとの公平な対話による相互理解を深め、教育・啓発活動及び環境保全活動を進めます。また、社会からの信頼性向上のため、環境に関する方針、正確な環境情報を開示します。

市原事業所 環境保全活動シンボルマーク



マークのデザインについて
緑の山、青く澄んだ川と地球、
そして全体にて人を表現しています。

■ ISO14001 認証登録

市原事業所



ISO14001
JMAQA-E382
川島織物セルコン
市原事業所

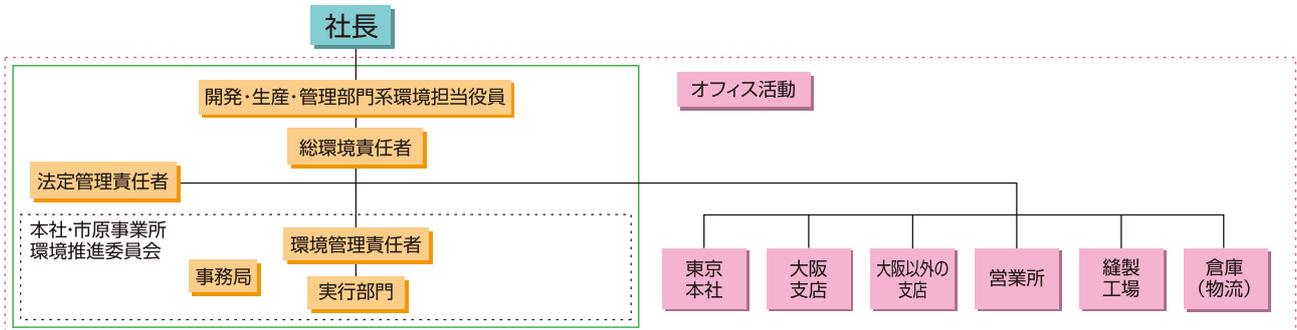
■ エコ京都21 認定登録(京都府)

循環型社会形成部門・
地球温暖化防止部門・
エコスタイル部門



川島織物セルコングループ 環境推進組織

環境マネジメント推進組織



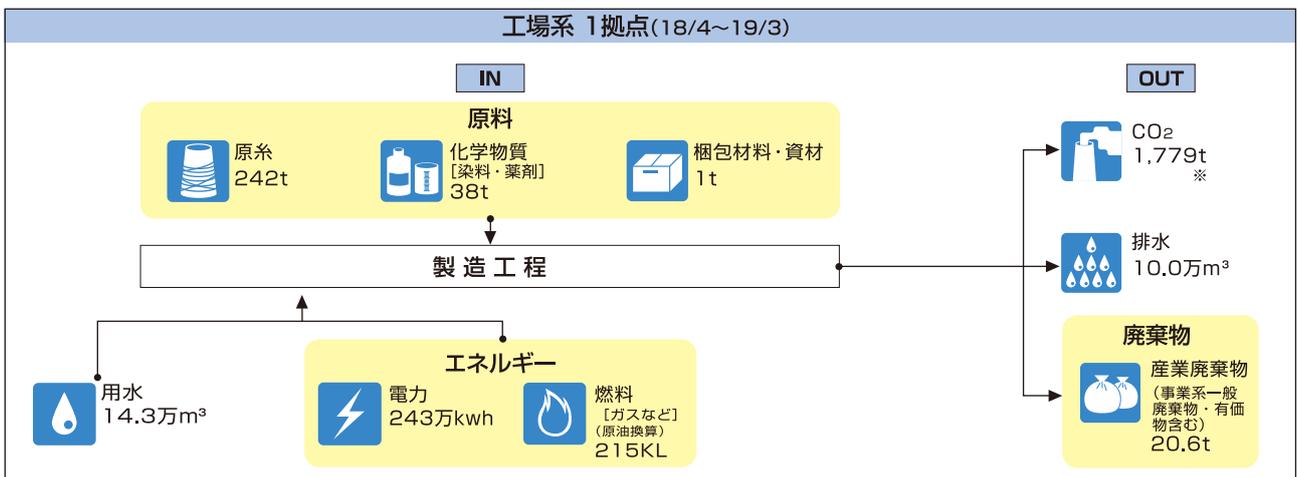
環境目標と活動内容

[2018.4~2019.3]

目標項目	活動内容	目標	実績(結果)
省エネルギー	電気エネルギー：使用時間短縮による空調電力使用量削減及びクールビズ・ウォームビズ実施。	2,631千kwh以下 (基準年2017年度実績 2,613千kwhに生産量を考慮し、その値から2%減)	○
	熱エネルギー：都市ガスボイラーの効率運転により削減効果を得た。	227,994m³以下 (基準年2017年度実績 226,163m³に生産量を考慮し、その値から2%減)	○
CO ₂ 排出量の削減	電気エネルギー・熱エネルギーの対策による削減効果を得た。	1,948 t 以下 (基準年2017年度実績 1,933tに生産量を考慮し、その値から2%減)	○
染色排水水質の向上	排水処理設備により安定的な処理を実施。 一時的に上昇傾向が見られたが予防対策実施後、目標値以下を継続。	N-hex抽出物質(動植物油類) 自主基準値24mg/l以下	○
廃棄物ゼロエミッションの維持	廃プラスチックのマテリアルリサイクル化、サーマルリサイクルを分別の徹底により堅持。 有価物化を推奨しゼロエミッションを維持。	リサイクル率99%以上	○
環境配慮型製品・技術の開発	・防カビ機能レース生産におけるセット加工時のCO ₂ 排出量の削減。	計画に対する進捗	○

◎目標大幅達成 ○目標達成 △改善は見られたが未達 ×改善できず未達、あるいは悪化

マテリアルバランス



※ 電力は環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」による

環境に関する規制の順守状況

■ 工場排水水質の管理[主要な排水基準値]

市原事業所[下水道基準]

	単位	基準値	実績
pH	—	5以上9未満	基準内
SS	mg/l	600未満	
BOD	mg/l	600未満	
窒素含有量	mg/l	240未満	
炭含有量	mg/l	32未満	
沃素消費量	mg/l	220未満	
N-hex抽出物質含有量	mg/l	30以下	

■ 大気排気物の管理[主要な大気排出基準値]

市原事業所

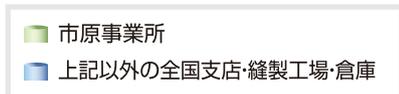
ボイラー	単位	基準値	実績
NOx	V/Vppm	150	基準内
ばいじん	g/Nm ³	0.1	

主要工場である市原事業所の2018年度の法順守状況は、すべての法基準項目で法基準値内を順守しています。

■ 排出量・使用量



*電力は、環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」による



ゼロエミッションへの挑戦

工場部門でのリサイクル

製造過程などで発生する生地ハギレは廃プラスチックとして委託工場でRPF化し、代替石炭とし、主に製紙工場の燃料としてサーマルリサイクルされます。



RPFチップ

また、木質系廃パレットは、パーティクルボードや燃料として再利用をしています。

これらの積み重ねによって、2007年3月からゼロエミッションを継続しています。

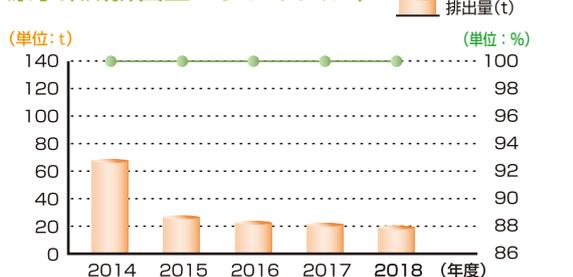
ゼロエミッションの定義

$$99\% < \frac{\text{有価物量} + \text{社外リサイクル量}}{\text{有価物量} + \text{廃棄物排出量}}$$

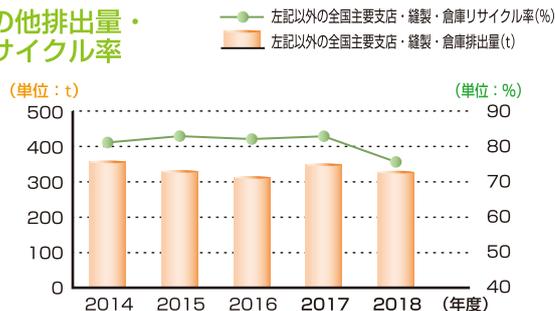
※廃棄物排出量=社外に持ち出した産業廃棄物及び事業系一般廃棄物量
 ※社外リサイクル量=廃棄物排出量のうち、埋立処分（単純焼却）せず再生利用・熱回収された量

廃棄物量・リサイクル率

市原事業所排出量・リサイクル率



その他排出量・リサイクル率



主要工場である市原事業所では、ゼロエミッションを目指して活動してきました。マテリアルリサイクル・サーマルリサイクルを積極的に取り入れ、2007年にはゼロエミッションを達成しました。全国支店・縫製工場・倉庫(物流)も、リサイクル率を上げるべく活動中です。

CO₂排出量の削減に向けて

工場での取り組み

市原事業所では、ボイラーを蒸気利用設備により近いところに配置して蒸気の熱ロスを削減しました。

また、大型空調機を最新の省エネタイプに変更し、電気・ガス使用量の大幅削減を実現しました。



大型空調機・室外機

オフィスでの取り組み

2005年から全社オフィス部門では、クールビズ、ウォームビズを展開し、室温を夏は28℃、冬は20℃に設定し、エネルギー使用量の削減及びCO₂排出量の抑制に努めています。また、2008年から「チーム・マイナス6%」、2010年からは「チャレンジ25」、そして2014年からは「Fun to Share」に参加し、社用車の「エコドライブ」の実施等で自動車運転時のCO₂排出抑制にも努めています。

従来の省エネ活動に加え、具体的には、

- ・ 緑のカーテンによる、夏の壁面温度上昇の抑制
- ・ 空調機室外機に日陰を作ることによる冷房効率向上などを実施しました。



緑のカーテン

LIXIL
Link to Good Living

私たちの
エコ
アクション

- 1 室内温度28℃を守ります。
- 2 照明を必要最小限に抑えます。
- 3 コンセントからプラグを抜きます。

COOL CHOICE

実施期間 5/1-10/31

LIXILは、環境省が定める
地球温暖化対策のための
国民運動「COOL CHOICE」に
賛同します。

クールビズ推奨ポスター

資源の有効活用

■ 循環型リサイクルシステム

2003年に立ち上げた、開発・製造・施工・回収・再生まで一貫した循環システムによるエコプロジェクトです。

廃PVC(ポリ塩化ビニル)リサイクル循環システム「e-RECYCLED」の実現により、回収された廃PVCをタイルカーペット・PVCタイルともに再資源化し、リサ

イクルバックングとして使用、加工エネルギーもCO₂も大幅に削減しています。

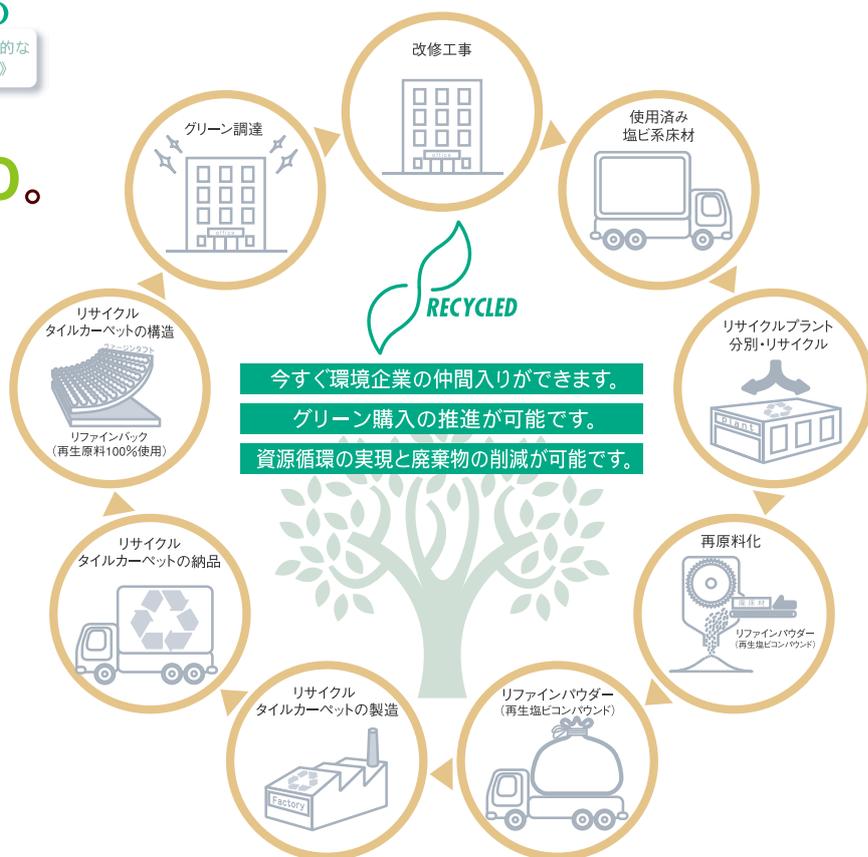
このシステムの構築により、タイルカーペット・PVCタイルでエコマークを取得しました。また、エコリーフ環境ラベルにも積極的に登録しています。

e-RECYCLED

川島織物セルコンが実現した画期的な《廃床材リサイクル循環システム》

地球にやさしい

床からECO。



エコマーク認定品

リサイクル材使用率35%以上(総重量比)

エコマーク制度は、1989年にスタートした公益財団法人日本環境協会が実施している環境事業のひとつです。環境保全に役立つと認められる商品に「エコマーク」をつけることで環境という観点から商品の情報を提供、消費者が環境に優しい商品を選択する際の目安になっています。



エコリーフ環境ラベル登録品

エコリーフとは、LCA(※)という手法を用い、資源採取から製造・組み立て・物流・使用・廃棄・リサイクルまで、製品の全ライフサイクルで発生する環境負荷を数値化し開示する制度で、一般社団法人産業環境管理協会が認証したものだけに付与される環境ラベル(タイプⅢ)です。製品の環境への影響は、「エコリーフ環境ラベルプログラム」のサイトで検索することができます。

※Life Cycle Assessment
ライフサイクルアセスメント



CO₂排出量削減への配慮

■ カーボンオフセット対象タイルカーペット

2008年4月より国連認証温室効果ガス排出枠の購入で、カーボンオフセット対象タイルカーペットの販売を、業界で初めて実現しました。従来品よりCO₂排出量を約15%削減、リサイクル率35%以上(総重量比)という、タイルカーペットの商品化に成功しました。しかしながら、製造段階などで排出されるCO₂のゼロ化まで

は、まだ達成できていません。

そこで、排出されるCO₂のうち、削除しきれないCO₂をカーテン協力工場のオフセット・クレジット(J-VER)によりオフセットし、従来品に比べ50%のCO₂削減効果を出しています。



従来品に比べて50%のCO₂排出量削減が可能です！

※リファインバックタイルカーペット・サンプルを1,000㎡ご使用いただくと、約**2.3t**のCO₂削減効果となります。

2018年オフセット・クレジット(J-VER)償却実績

2018年度のカーボンオフセット対象タイルカーペットの販売数量から、環境省オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づき、1,098トン分のCO₂を、オフセット・クレジット(J-VER)によってオフセットしました。



カーボンオフセット対象商品

- ニースプリーツ/シャンハイプリーツ/アネプリーツ/ウィーンプリーツ/
- ブラハプリーツ/ブリュッセルツイード/ミラノツイード/ニューヨークツイード/
- パルセロナツイード/ロンドンツイード/シカゴツイード/ストックホルムツイード/
- トーキョーツイード/ファンクションウェイ/スチームモーション/
- トランスレーション/ストロボライト/スウィングチェック/モコウェール/
- ストラタムII/ミネラルサンド/ミネラルサンドブランク/サキソニー/
- CJパターンライブラリー/デッサン/CD/アクティブストラテジー/
- サンプル/フォギー/ブラッシュ/ブラッシュブランク/
- マルチ/ストライプ/他リファインバック仕様品



カーボンオフセット
商品出荷証明書
対象商品をご購入の場合、証明書を発行いたします。



エコリーフ



←対象商品にはこのマークが付きま
(自社ロゴマーク)

カーボンオフセット対象商品
をご採用いただくだけで、
地球温暖化防止に寄与します。



CO₂削減量のアップ エコリーフ(LCAデータ開示)の成果

エコリーフは、製造の各工程におけるCO₂排出量とエネルギー消費量をデータ化して公開するので、どの工程でいくらCO₂を排出しているかが「見える化」されています。そこで、タイルカーペット製造工程で発生するCO₂排出量の削減に向け、改善活動を実施しました。協力工場の省エネ推進、使用済みタイルカーペットの回収量の増加を図り、合計で15%の削減ができました。(カラーバンク マルチ/ストライプの場合)

CO₂排出量削減への配慮

■ 広域認定の取得によるカーテン・カーペットのリサイクル

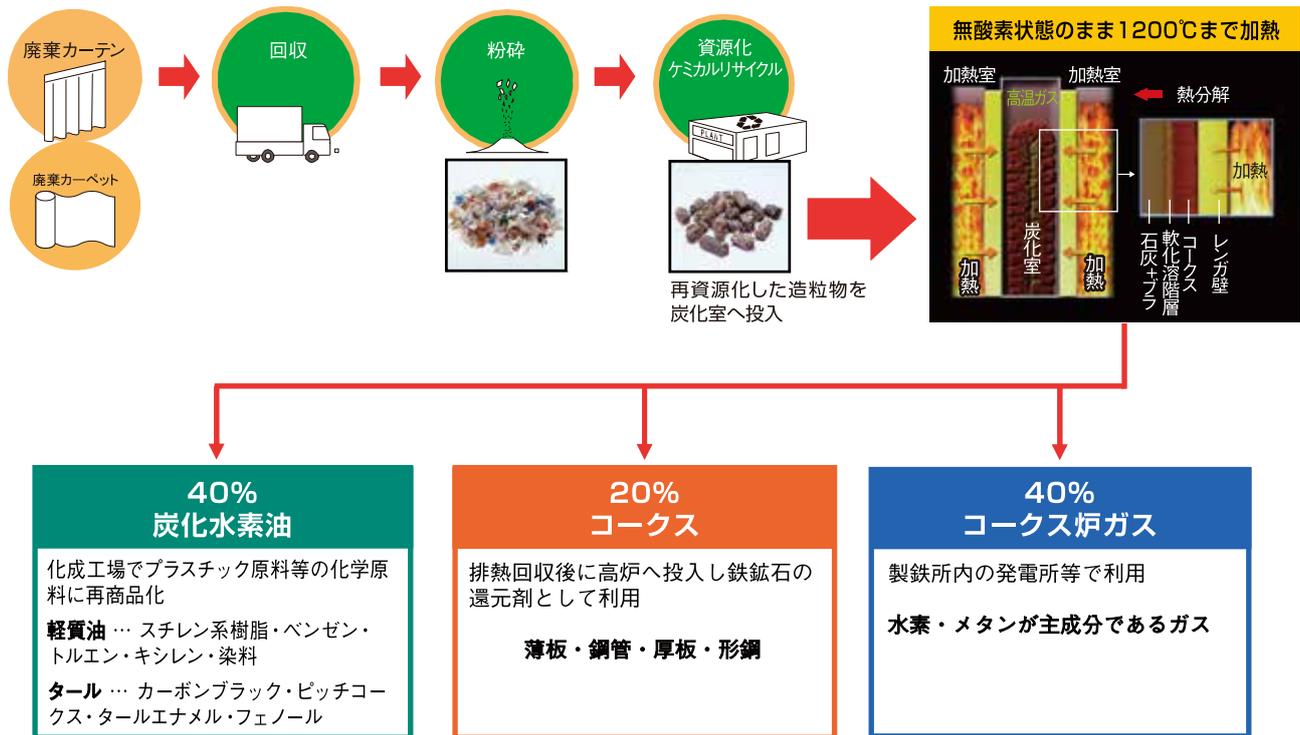
2009年7月より、オーダーカーテンを回収・リサイクルする仕組みを導入しています。これはインテリア業界で初めて広域認定を取得し確立した制度です。

また、この仕組みをロールカーペットにも導入し、環境に優しい製品として完全リサイクルを目指しています。

不要になったカーテン・カーペットを回収、破碎し

た後、環境再生利用認定のケミカルリサイクル手法で、CO₂を発生させずに炭化水素油・ガス・炭素に再生します。また、リサイクル後に残渣をほぼ100%排出させません。

このケミカルリサイクル手法は、経済産業省が進める繊維リサイクル法の制定を見据えたリサイクル手法として注目されています。



リサイクルで「エコマーク」取得

オーダーカーテンシリーズ「FELTA」は、インテリア・カーテン業界で初のリサイクルの「エコマーク」を取得しました。

ご不要になったカーテンの適切な処理と有効活用を目指し、回収リサイクルするカーテンには洗濯表示ラベルに右記のリサイクルカーテンマークを付けています。

また、「エコベーシックロールカーペット」のウールベーシックと「ウールフローリング」もエコマーク認定を受け、当社のウール素材のロールカーペットは全てエコマーク認定商品となりました。



RECYCLE

カーテン
リサイクルマーク



使用後回収・リサイクルするカーテン

エコマーク認定番号
第09104002号



使用後回収・リサイクルするカーペット

エコマーク認定番号
第10104010号

リサイクルの「エコマーク」認定基準

- ・製品は使用後引取り、リサイクルすること
- ・不用品となった製品を引き取り、リサイクルされる仕組みを整えていること
- ・廃棄物の処理、清掃に関する法律を遵守すること

CO₂排出量削減への配慮

再生可能エネルギーの利用拡大 置敷ビニル床タイルのグリーン電力による生産

2009年6月より、置敷ビニル床タイル「リファインバック エグザ」の製造に、風力や太陽光、バイオマスなど自然循環の中で生まれるエネルギー源で発電されたグリーン電力を採用しました。バイオマス発電のグリーン電力証書を購入し、製造工程(※1)で消費する電力に充当、製造時に発生するCO₂をゼロにしています。

年間約200,000Kwhの電力をグリーン電力で充
当し、約100トン(※2)のCO₂を削減します。

※1 製造工程とは以下の2工程
ラミネート工程(トップフィルム・印刷フィルム・バックングを熱圧着し、
貼り合わせる工程)
カレンダー工程(塩化ビニル樹脂コンパウンドを一定厚さのシート状に
圧延する工程)

※2 平成18年 経済産業省・環境省令 第3号 算定デフォルト値から算出

グリーン・エネルギー・マーク採用

グリーン・エネルギー・マークとは、製品製造時に消費する電力がグリーン電力によって賄われている製品に付けられるマークで、グリーンエネルギー認証センター(※)が制定しています。リファインバック エグザは、インテリア業界初のグリーン・エネルギー・マーク採用商品です。

※(財)日本エネルギー経済研究所の附属機関。環境への負荷が小さなエネルギーに関する認証および調査研究を行なう。



グリーン電力証書



REFINEBACK EXA

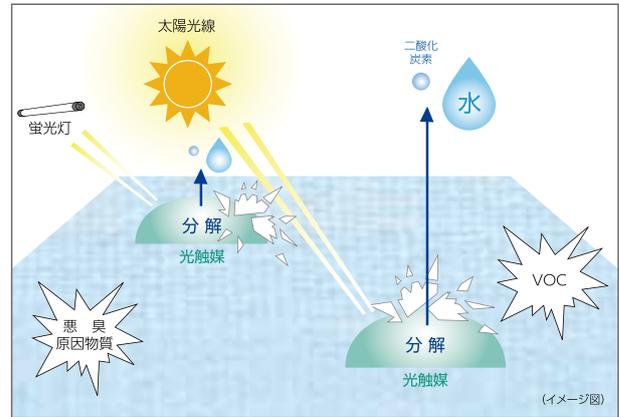
室内空気環境改善への取り組み

消臭加工技術

セリスト加工

セリスト加工は当社が独自に開発した光触媒の技術です。

シックハウス症候群の一因とも言われる VOC（揮発性有機化合物）や、悪臭成分、細菌などを紫外線のエネルギーを利用して分解するという環境配慮型のカーテン加工技術で、これは紫外線が当たる限り効果が持続するサステナブルな機能です。また、繊維上のインフルエンザウィルス（H1N1）を不活性化させる効果があることも確認しています。



[FAB-ACE (ファブエース)] 環境適合型壁装システム

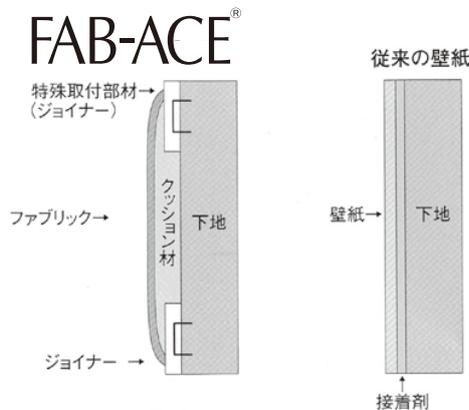
特殊取り付け部材「ジョイナー」の開発により、接着剤を使用せずにファブリックの脱着が可能な壁装システムです。壁紙と異なり、模様替えなどの時にファブリックだけの交換で済み、再施工時の廃棄物の削減につながります。また接着剤を使用しないので、VOC（揮発性有機化合物）も発生せずシックハウスの心配もありません。接着剤が乾くまでの不愉快な臭いもなく、施工後すぐに部屋の使用ができます。

不燃石膏ボード下地で、不燃認定を取得しており、

ホルムアルデヒド発散等級は F☆☆☆☆相当です（FAB-ACE は壁紙と異なり接着剤を使用しないため建築基準法 F 基準の規制対象外となります）。

さらに吸音性にも優れ室内の不快な残響音を軽減、より快適な音環境を確保します。断熱にも効果を発揮し、柔らかな仕上がりで、気品のある落ち着いた雰囲気醸し出します。

施工部材がリサイクル可能な材料で作られているだけでなく、リユースもできるなど、環境適合性の高さでも優れた壁面施工法と認められています。



施工例

環境にやさしい伝統的モノづくり

デザイン

川島織物セルコンの原点ともいえる、帯地、緞帳(どんちょう)、壁掛、祭礼幕、織額等の製作過程では、それらの付加価値を産み出す源泉のひとつとして図案制作があります。

従来、図案は絵具と筆によって描かれてきました。しかし、絵具・筆を洗浄する際の廃液は水質を汚染することから、最近では絵具と筆による図案制作を重視しつつも、コンピューターを使った図案作成を取り入れ、環境負荷低減と、製作時間の短縮に取り組んでいます。



製作

帯地、祭礼幕は、絹糸を主とした天然素材と、古来から伝わる手機(てばた)を使って織り上げています。特に綴織(つづれおり)は「爪の芸術」とも呼ばれるように、熟練した織り手(おりて)がノコギリ歯状の爪で、糸を1本ずつかき寄せながら織り綴るものです。まさに芸術品と呼ぶにふさわしい織物で、手機の動力は織り手の手足のエネルギーのみであり、環境にもやさしい製織技法といえます。

今まで帯地の「しみ落とし」には、わずかな量ですが有機溶剤を使用していましたが、環境保全活動を進める中で使用化学物質を見直し、現在は環境負荷の少ない薬品に切り替えています。



環境社会貢献活動

■ 地域とのコミュニティ・ダイアログ

市原事業所では、地域住民の皆さまと従業員の交流会「コミュニティ・ダイアログ」をはじめました。

自治連合会や社会福祉協議会をはじめ、小学校や児童館などの教育機関、京都市・警察署・消防署などの自治体や公共機関、豊かな地域づくりを目指す有志の会などと、情報交換・意見交換を行っています。



■ 市原野学区自主防災会との大規模災害における支援協力体制——市原事業所

市原事業所は、「大規模災害における支援協力の覚書」を地域の自主防災会と締結しています。大規模災害が発生したら、地域住民に施設の開放、器具工具の提供、医薬品・食料品・飲料水などの提供を行い、地域の防災拠点として役立つよう整備しています。

■ 施設の開放——市原事業所

事業所内にあるグラウンドを、少年野球チームの練習場や地域のバザーなどの催しの会場などに開放しています。

また事業所併設の緑地公園は、桃の花が咲きほこる春には地域の園遊会場として、他の季節にも様々なイベント会場として地域の方々に利用されています。



■ エコ・ファースト企業として

エコ・ファースト企業による自主運営組織「エコ・ファースト推進協議会」（2009年12月9日設立 現在加盟45社）の一員として活動に参加し、全国の小中学生から創作ことわざを募集し、地球環境保護の意識高揚を目指す「エコことわざ」コンクールなどを実施しました。

また、関西に本社を置く企業で組織する「エコ・ファースト関西」にも参画し、びわ湖の外来魚駆除ボランティア、環境問題に意識の高い大学生との交流会などを行い、環境意識の向上に努めています。



■ 地球緑化への協力

世界中で進む森林破壊や砂漠化に対し、緑の保全・砂漠化防止などの推進に寄与する目的で、中国やアフリカに植林活動を進める「財団法人緑の地球防衛基金」の活動に賛同し、全社で使用済切手やプリペイドカードなどを集め、それらを売却することで、苗木を植林するという活動に協力しています。

